



## 歯科医・彌勒寺寛之の 視界良好!

## 第1回 歯科医院開院に まつわる話①

こんにちは。宇都宮市中央「みろ歯科」院長彌勒寺です。

新規開院とともに当コラムもリニューアルさせていただきました。

今回はみろ歯科新規開院にまつわる話をしようと思います。

まず歯科という業界についてですが、一般的に他業種と比べて参入障壁が高いと言われてい

ます。これは歯科大学に6年通い国家試験に合格して歯科医師免許を得る必要があることや、例えば私立の歯科大学の場合、卒業までに多い所で総額約3000万円の学費がかかるので経済的な負担が大きい点があげられます。

ちなみに関東地方で国立の歯科大学は東京医科歯科大学1校のみで、他は全て私立です。

しかし近年はコンビニの約1.5倍、全国に約6万8000軒の歯科医院があると言われ、当院のある宇都宮市だけでも約300軒の歯科医院があります。

特に最近では年に1～2回位「ワーキングプア歯科医」などの特集を雑誌で見かけるようになり、それらの記事によると都心部では競争の結果いわゆる勝ち組と負け組が生まれて歯科医師の所得の格差が広がっているとのことらしいです。(ちなみにワーキングプアとは年収200万円以下のことらしいですが、私の身の回りですのような先生は見たことはありません。)

ただ、ワーキングプアは極端な例だとしても、長期的な視点で見れば出生率の減少から日本の人口は減少していくことが予測されるのに対し、歯科医院はおそらく増加の一途をたどるので、需要と供給のバランスから今後は都心部のみならず全国的に競争が広がっていくと考えられます。個人的には数年前に東京都新宿区の同じビル内に歯科医院が2軒入っていたのを見た時は驚いた記憶がありますが、そう考えると明日は我が身かもしれません。

歯科医院が増加の一途をたどるであろう理由として、毎年約2000人の歯科医師が誕生しつづけることと、医科と比した歯科業界の特徴として歯科大学の大学病院で勤務医として生涯全うする人は極わずかで、基本的には開業する傾向が非常に強い点があげられます。

と、というのが歯科業界に関しての一般的によく言われる話であり、ハイリスクローリターンでお先真っ暗と思った受験生の親は子どもが歯科大学に行くことを敬遠し、結果歯科大学の一部が定員割れ、その影響で学費を値下げ、なんてことも実際にあるようです。

でもここだけの話、実際は…。

私にとってはこんなにやりがいのある仕事、職業はないと思っています。

その理由は…次回お伝えします。



～著者プロフィール～

みろ歯科院長 (2012年10月1日新規開院) 彌勒寺 寛之 (みろくじ ひろゆき)

住 所 宇都宮市中央2-4-8 T E L 0120-814-364 (URL) <http://tda86.com>

所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会

日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

(この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。)

